

# 妙安寺だより 315

テレフォン法話 092-751-6

084 (毎週月曜日に話が変わります)

## 〔方便品第二の解説 ③〕

をってをわば のを くしたまえり

みなん くべからず はん のしたまえるは のなり ととし くのをしたまえり の・・・・・・・・なり

舍利弗よ。するに、り知ることのできないほどの限りない、いまだかつて示されたことのない教えを、仏はことごとく悟りめいているのです。舍利弗よ。もう、止めよう。ふたたび、このことを説いても仕方がないことです。

なら、仏のしげられたりのは、もつとれており、まことにまれで、たやすく理解することのできない教えだからです。

ただ、仏と仏とが語り合うことによるのみ、その教えをめぐすことができるのです。それは、仏のみが、あらゆるののわっているからです。あらゆる物事の真実の姿とは、いったい何か？

それは、の物事がどのような姿・形を示しているのか。どのような性質を持っているのか。その実態は何であるのか。どのような力を持っているのか。如何なる働きがあるのか。それらの物事が起こる原因は何か。物事の関連性や結びつきはどのようなものであるのか。それらの結果はどうであるのか。その結果の後ののはどのようなものであるのか。

こうした、始から結末に至るまでの事柄が、互いにわり合いながら、それぞれ等しく、常に果てしなく結び合っているということです。

これが、すべての物事の真実を悟りめた仏の深い智慧なのです。だから、った見方や少しばかりの悟りにらないように、平等で真実をす仏の智慧を備えるようにめ励まなければならないのです。

## 平成23年度 地涌の声の功德主 募集

毎月、妙安寺だよりと共に同封しております「地涌の声」の功德主を募集しております。

希望の月をお知らせください。(同じ月が重なった場合は、申し込み順によります)

功德主料は、ひと月 5,000円です。(2月・4月・5月は申し込み済み)

